

【愛媛県】

現在の景気：一部で明るい動きがみられるものの、横這い圏内の動き。

3か月程度の見通し：横這い圏内の動きが続くとみられている。

個人消費：足許増加したものの、横這い。2月の大型小売店販売（店調前、速報値）は前年比3.7%増と2か月ぶりに増加。店調後は前年比2.4%増加。乗用車販売（軽含む）は5か月連続で前年比増加。

住宅建築：一進一退。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比0.3%減少、貸家が7.6%減少、分譲住宅が5.0%減少したものの、給与住宅が大幅に増加し、全体では前年比8.2%増と3か月ぶりに増加。

設備投資：慎重姿勢。日本銀行松山支店の「日銀短観（愛媛県分）」によると、2012年度の設備投資額（計画）は、上期が前年同期比4.0%減少、下期が22.6%減少し、通年では前年度比13.2%減少。

公共工事：低水準。2月の公共工事請負額は、県が前年比28.8%増加、市町が181.8%増加し、全体では前年比6.5%増加。年度累計は前年度比減少。

輸出：足許増加したものの、弱含み。2月の輸出額は、非鉄金属、鉱物性燃料などが増加し、全体では前年比17.7%増と6か月ぶりに増加。

生産活動：一進一退。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比4.8%上昇し91.2。原指数は前年比1.5%低下し2か月連続で低下。化学、非鉄金属などが低下。

観光：横這い。2月の道後温泉旅館宿泊客数は前年比2.1%減少。12-2月累計は前年同期比1.8%増加。

雇用情勢：横這い。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.01ポイント上昇し0.76倍。原数値は前年比0.04ポイント上昇。新規求人数は、医療・福祉、卸売業・小売業などが増加し、全体では前年比4.5%増加。

（トピックス）

○いよぎん地域経済研究センターが会員企業を対象に実施した、「愛媛県内事業所の節電への取り組み状況などについて」のアンケートによると、県内事業所のうち、前年の夏に節電を実施した事業所は56.9%。節電による電力使用量の減少率は「5%程度」との回答が54.7%。「節電のための今後の設備投資を予定している」と回答した事業所が34.5%。投資予定は、「照明のLED化」が72.9%、「消費電力の少ない冷暖房器具への切替」が40.3%、「消費電力の少ない機械設備への切替」が26.4%。再生可能エネルギーの固定価格買取制度の対象となる「太陽光パネルの導入」が20.1%。今年の夏に節電要請があった場合の対応に関しては「できない」、「5%未満」と回答した事業所の合計は65.5%。その理由としては「昨年かなり節電対策を実施したので、これ以上は無理」との回答が32.7%。

< 主要産業の動向 - 愛媛県 - >

- 海運**：遠洋では、バルカー（ばら積み貨物船：梱包されていない貨物を輸送する船）のスポット用船料が低迷。コンテナ船は、新造大型船が大量に供給されたことから、用船料が低調に推移。
- 食品**：削り節は、液体調味料へのシフトなどから需要がやや減少。主原料であるカツオ価格の指標となるバンコク相場は、依然として2,000ドル/t前後の高値で推移し、採算は悪化。珍味は消費者ニーズの変化などから従来の乾燥珍味の需要が減少。副食として食べられる海藻製品や健康を意識した小魚製品の販売に力を入れる動きも。